

2018年6月19日

生産、開発、技術分野で

パナソニックと日東工業が配電盤事業等で包括的協業を検討開始 顧客満足度の高いソリューションを実現

パナソニック株式会社エコソリューションズ社（以下、パナソニック）と日東工業株式会社（以下、日東工業）は、このたび、配電盤事業等で包括的な協業を検討することに合意しました。両社は生産・開発・技術分野で連携し、顧客満足度の高いソリューション提供を目指します。

今回の合意により、今後、配・分電盤、関連機器など配電盤事業等領域において、各々の得意分野・技術を生かし、共同での生産、製品開発、技術開発の検討を進めます。今後両社で、国内だけでなく海外も視野に入れて、協業の方向性、スケジュールを決定しますが、まず生産協業について、今年度中に開始の可能性を検討していきます。

パナソニックは、1935年より産業用ならびに住宅用の配・分電盤、ブレーカ、計測機器を製造・販売しています。近年では、IoT、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）のようなトレンドに合ったBEMS・HEMS対応の配・分電盤の発売や施工現場のニーズに応えた製品開発など、電気設備の安全、安心に貢献しています。

一方、日東工業は、1948年より、配・分電盤やブレーカ、キャビネットなどを製造・販売しています。省スペース、省施工、高機能などのニーズに対応する製品開発や先進の設備で高品質・短納期を実現する一貫生産などにより、さまざまなシーンで電気インフラをサポートしています。

両社は、取り巻く環境が激変する中、信頼できるパートナーとして、お互いの経営資源や事業ノウハウを有効活用することで、お客様へのより付加価値の高い製品・サービスの提供が可能になると判断し、今回の協業検討に至りました。

両社は今後、配電盤事業等を通じて、より快適で安心な社会の実現に貢献していきます。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。